



＜オープニング練習＞



＜準備体操練習＞



＜全校リレー練習＞



＜全校綱引き練習 本番は全校児童VS保護者＞



明北小は、10月17日（土）に運動会が行われます。特別時間割が開始され、全校種目の練習も始まりました。6年生の係担当が先頭に立ち、練習計画を立てて進めています。職員は、全体に向けて指示を出すことはほとんどなく、進行のフォローをする立場で、必要最小限のアドバイスをしています。委ねたからには、その意志を最後まで貫き通す強い気持ちがなければ、なかなかできることはありません。子どもたちは、思うようにいかなかったことがあると、どうすればよかったのか自分たちで考え、次はこうしようと一歩前に進みます。職員の関わり方により、子どもたちの姿が変わってくることを実感しています。そして、試行錯誤して最終的に成し得た喜びが、子どもたちの大きな自信となり、次なる挑戦につながっていきます。

2 明南小6年総合『クリーンリバーラフティング』 10月5日（月）



明南小6年生は、明科の「あめんぼう」と「カヌークラブ代表」の皆さんにお願いし、『クリーンリバーラフティング』を体験しました。通常のラフティングの楽しさに加え、ゴミ拾いもしながら、自然環境や地域課題への関心を高めることがねらいです。



川下りの途中で立ち寄った場所で、ゴミ拾いをしました。様々な種類のゴミを見つけて大きな袋に入れていきました。ゴール地点では、拾ったたくさんのゴミの中から、4艘のボートそれぞれで特に紹介したいゴミを見せ合い共有しました。子どもたちにとって、明科の魅力と地域の課題の両面について、実際の体験から感じる貴重な機会になりました。今回のクリーンリバーラフティングが、今後の活動にどのように活かされていくか楽しみです。



<子どもたちの振り返りから>

- ・初めてのラフティングだったから、少しきんちょうしたけど、ゴミを拾ったり、風景を見たりして、楽しくできた。さい川は、きれいだと思っていたけど、たくさんゴミが落ちていたから、自分たちでも、ゴミを落としたり捨てたりしないように気をつけたい。
- ・すごく楽しかった。ふだんしないゴミ拾いもできてよかった。みんなで水でっぼうで遊んだのが面白かった。みんなが拾ったゴミを見たとき、「こんな物があるの!？」とおどろいた。自分も気をつけようと思った。
- ・さい川は、きれいな川だと思っていたから、あんなにたくさんのゴミが落ちていてショックだった。あきらかに人が捨てたゴミばかりだったから、どんな人が捨てていたのか気になる。